



KUNGL.
VETENSKAPS-
AKADEMIEN

THE ROYAL SWEDISH ACADEMY OF SCIENCES



丹羽太貫先生スウェーデン王立科学アカデミー ゴールドメダル受賞記念シンポジウム

丹羽太貫先生が、スウェーデン王立科学アカデミーゴールドメダルの受賞者に選出されました。丹羽先生は、放射線生物学分野の専門性を背景に、福島第一原発事故発生後、国際放射線防護委員会 (ICRP)・政府の担当当局・自治体・被災した地元住民の対話の立ち上げに尽力されました。今回の受賞は、放射線防護における難問であった「倫理的側面に配慮したステークホルダー参加のモデル (ステークホルダーが問題の解決に直接的に関与する際に生じる倫理的問題を解決するモデル)」を、福島での活動を通じて示した実績と、福島対話への直接的な貢献を称えたものです。丹羽先生の受賞を記念して以下のシンポジウムを開催いたします。



丹羽太貫先生

日時： 2024 年 12 月 6 日 (金) 午後

会場： 京都大学 芝蘭会館 稲盛ホール (現地での対面式開催)

プログラム：

15:00 - 15:05 開会挨拶

15:05 - 16:05 講演 20 分 × 3 名 (@稲盛ホール)

笹谷 めぐみ (広島大学・准教授)：

「丹羽先生からの贈り物」

藤堂 剛 (大阪大学・名誉教授)：

「丹羽先生と放射線生物学」

勝見 五月 (元福島県伊達市立富成小学校・校長)：

「3.11 からの科学と対話」

16:05 - 16:20 休憩

16:20 - 17:20

丹羽 太貫 (京都大学名誉教授)：

「放射線のサイエンスと人々ー福島で学んだこと、広島・長崎で学んだこと」

17:20 - 17:25

閉会挨拶